

番号	6	令和2年度公共事業再評価調書		担当課名 河川海岸整備課		
事業名	事業間連携河川事業〈津波・高潮対策〉		事業主体	静岡県		
箇所名	二級河川坂口谷川		市町名	牧之原市 吉田町		
事業採択年度	平成28年度	計画期間	平成28年度～令和5年度			
用地着手年度	平成28年度	工事着手年度	平成28年度			
再評価理由	河川整備計画策定(H28)後5年間に経過した時点で継続中					
全体事業費	百万円 3,086	投資状況 (百万円)	～H30年度	R1年度	R2年度見込	計
			1,028	464	490	1,982
事業概要	<p>(1)事業目的 河口部に水門を設置することにより、駿河トラフ・南海トラフ沿いの地震により発生が想定されるレベル1津波から、背後地にある宅地家屋の浸水被害を解消し、地域住民の生命・財産を守ることを目的とする。</p> <p>(2)事業内容 津波対策水門 1基</p>					
【視点1】 事業の 必要性	<p>(1)事業を巡る社会情勢等の変化 静岡県第4次地震被害想定が平成25年6月に公表され、特に津波による浸水被害が想定される沿岸域では、津波対策の施設整備が進むとともに、津波避難計画の策定や津波避難訓練の実施など、地域住民の防災意識の醸成が図られている。このような中、河口から遡上する津波に対し、地域住民の生命と財産を守るうえで重要な役割を担う津波対策水門の期待感は益々大きなものになっている。</p> <p>(2)事業の投資効果 現時点(R2)の分析結果：B/C=1.2 経済的内部収益率(EIRR)=35.5% ・総便益(B) 42.5億円 (被害軽減便益 42.5億円) ・総費用(C) 34.4億円 (建設費 31.4億円、維持管理費 3.0億円)</p> <p>(3)事業の進捗状況(令和2年度末見込み) 【事業費】64.0%(1,982百万円/3,086百万円)</p> <p>平成28年度より工事に着手し、令和元年度までに右岸本体工が完成した。令和2年度は、右岸扉体工が完成し、左岸の本体工及び扉体工に着手する予定である。</p>					
	評価	継続が妥当・視点3による見直し後継続が妥当・継続は妥当ではない				
【視点2】 今後の 事業の進捗 の見込み	<p>地元住民からの期待も大きく、令和2年度には個別補助事業に採択され重点的な予算配分が可能となったことにより、順調に事業が進んでいることから、計画通りに水門整備を実施できる見込みである。</p>					
	評価	継続が妥当・視点3による見直し後継続が妥当・継続は妥当ではない				
【視点3】 新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性	<p>工事発生土は、近隣の公共事業に利用している。引き続き、他事業と連携しコスト縮減に努めていく。</p>					
対応方針案	<p>(1)対応方針案 本事業を(継続・中止)する。</p> <p>(2)理由 本事業は、坂口谷川河口部に水門を設置し、駿河トラフ・南海トラフ沿いの地震により発生が想定されるレベル1津波に対する被害の防止を図るものである。費用対効果も見込まれ、地元要望も強く、地域の安全・安心に寄与することから、事業を継続して早期完成を図る。</p>					

費用便益比算出説明書

二級河川 坂口谷川

(「治水経済調査マニュアル(案)」国土交通省水管理・国土保全局 令和2年4月)

総括表

総便益 B	[治水事業を実施しない場合の被害額]－[治水事業を実施した場合の被害額] +[施設の残存価値]	4,210百万円
総費用 C	[建設費]+[評価期間内に必要な維持管理費]	3,447百万円
B/C		1.2

総便益

- 施設等の残存価値
評価期間末における施設等の残存価値を社会的割引率4%で現在価値化する。

総便益[治水事業を実施しない場合の被害額]－[治水事業を実施した場合の被害額]
B = 4,210百万円(東海地震により発生する津波1回による浸水被害を想定)

- ※ 被害額は洪水による家屋、事業所、農作物、公共土木施設などの被害額と営業停止損失、家庭・事業所における応急対策費用である。
- ※ 年平均被害軽減期待額は洪水の生起確率を生起確率別被害軽減額に乘じ、計画対象規模まで累計することにより算出する。
- ※ 整備期間中の便益は、事業費に比例して発生するものとする。

総費用

- 事業建設費
各年の事業建設費を社会的割引率4%で現在価値化する。
- 評価期間内に必要な維持管理費
各年の維持管理費を社会的割引率4%で現在価値化する。
建設費の0.5%/年、評価対象期間:57年

総費用

$$C = \sum \text{各年事業建設費} / (1+0.04)^n + \sum \text{年間維持管理費} / (1+0.04)^n$$

$$= 3,142.5 \text{百万円} + 304.3 \text{百万円}$$

$$= 3,446.8 \text{百万円}$$

二級河川坂口谷川 位置図

位置図



凡例	
河川	
流域界	
市町村界	

静岡県第4次地震被害想定による浸水被害範囲

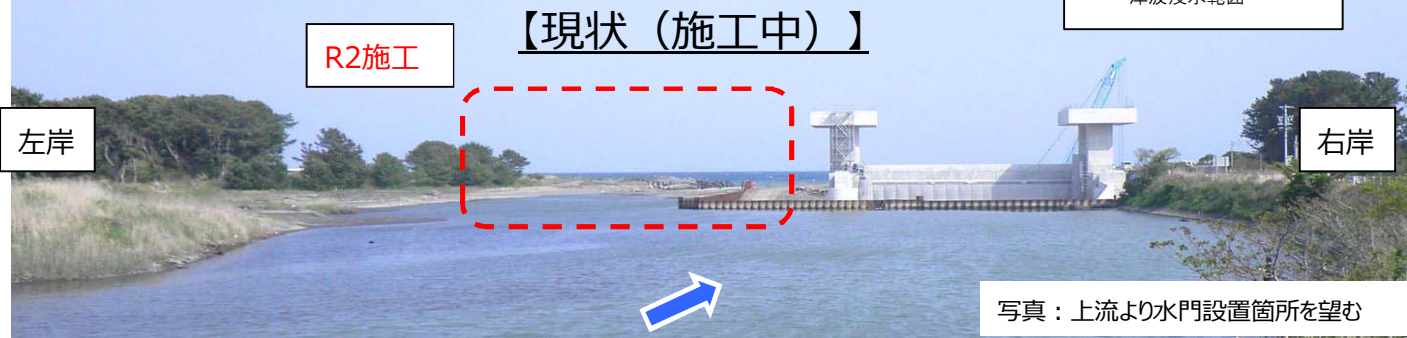


静岡県第4次地震被害想定による浸水被害範囲

現 況 写 真



- 【凡例】
- R1以前
 - R2
 - R3以降
 - 他事業 (海岸事業：国)
 - 津波浸水範囲



標 準 横 断 図

